

学校教育目標(目指す児童像)	◎進んで学ぶ子(知) 【目標を持ち、よく考え、意欲をもって最後まで努力する。】
	○心豊かな子(徳) 【相手の気持ちを考え、互いを大切に し、認め合い・助け合う。】
	○たくましい子(体) 【心と体を鍛え、健康で明るい生活を送る。】
目指す学校像	1. 主体的に学ぶ意欲や基礎・基本的な知識及び技能、それらを活用する力などを確実に身につけさせる学校 2. 子供一人一人の良さを認め、自分と他の人を大切にする心豊かな子供を育てる学校 3. 教職員が組織的に教育活動を実践し、互いに協力し、子供のために力を尽くす学校 4. 家庭や地域社会とともに歩む学校

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための具体的方策	評定	評価指標	自己評価	
確かな学力の向上	基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用できる力を身に付けさせる授業の実現に努める。 1 自ら学ぶ意欲や学び方を身につけさせる。 2 自分の良さを知り、意欲的・創造的に活動させる。 3 基礎的・基本的な知識及び技能の定着させる。 4 思考力・判断力・表現力の育成する。 5 基礎的な体力を向上させる。 6 生涯学び続けるための基礎を身に付けさせる。	個々の学習状況を明確にし、読む・書く・計算する力の定着を図り、意欲的に学ぶ力を付けさせる。 ○ 児童の興味関心を高め、意欲的に学ぶ力を付けさせる。 ○ 児童の習熟度に応じた指導の充実させる。 ○ 個々の学習状況を明確にし、読む・書く・計算する力を付けさせる。 ○ 児童の学習状況を把握し、質の高い個別指導を実施する。 ○ 家庭学習を重視し、復習することを習慣付けさせる。 ○ 自主的に読書をする習慣を付けさせる。	学年間で指導方法の工夫を行い、アクティブラーニングを取り入れた授業を実施する。	4	指導方法の工夫を行い、アクティブラーニングを取り入れた授業を7割実施した。		
				3	5割実施した。		
				2	3割実施した。		
				1	全くしていない。		
				1時間の授業の中で、児童が考える時間や発表する時間を確保する。	4		児童が考える時間や発表する時間を35分以上確保した。
				3	25分以上35分未満		
				2	15分以上25分未満		
				1	15分未満		
				算数の習熟度別学習の充実を図る。さらに低学年の国語と算数の授業の充実を図る。	4		児童による授業評価で「よく分かる」と回答した児童が90%以上。
				3	80%以上。		
				2	50%以上。		
				1	50%未満。		
				全員が該当学年の漢字の読み書きができるように指導する。	4		漢字テストで、9割の児童が90点以上とれる。
				3	7割以上9割未満		
				2	5割以上7割未満		
				1	5割未満		
				全員が該当学年の計算をできるように指導する。	4		計算のテストで、9割の児童が90点以上とれる。
				3	7割以上9割未満		
				2	5割以上7割未満		
				1	5割未満		
				始業前15分間(水：読書、火金：反復学習)の充実する。	4		ほぼ毎回クラスの9割以上が13分以上朝学習の時間に取り組んでいる。
				3	8割が10分以上		
				2	10分以上の時間の確保ができていない。		
				1	朝学習の時間を他のことに使っていることが多い。		
	読書の大切さを教え、15分以上の読書の習慣化を図る。	4	学校、家において本を15分以上毎日読む。				
	3	週に5日以上読む。					
	2	週に3日以上読む。					
	1	まったく読まない。					
	支援体制を有効に活用し、きめ細かい個別指導を行う。	4	支援体制を活用して、児童の満足度が9割以上だった。				
	3	7割以上9割未満					
	2	5割以上7割未満					
	1	ほとんど効果的に活用できなかった。					
	家庭学習が習慣化するよう指導を徹底する。	4	今日の家庭学習の課題を9割の児童がやってくる。				
	3	7割以上9割未満の児童がやってくる。					
	2	5割以上7割未満の児童がやってくる。					
	1	家庭学習をほとんど出さない。					
	どの子にも分かりやすい授業を実践する。(ユニバーサルデザイン)	4	児童による授業評価で満足度が9割以上であった。				
	3	7割以上9割未満					
	2	5割以上7割未満					
	1	5割未満					

豊かな心の醸成・健やかな体の育成	1 集団生活を通して、基本的な生活習慣を身に付けさせる。	自分をみつめ、自分の行動に責任をもたせる。 相手の気持ちを考え、互いを大切にする心を育成する。	休み時間、給食、清掃等できる限り子供と共に時間を過ごし、子供一人一人のよさを認める。	4	学校生活に対し、満足している子供が8割以上いる。		
				3	6割以上8割未満		
				2	5割以上6割未満		
				1	5割未満		
	2 社会の一員としての自覚と規範意識を育てる。	○ 子供が一人一人のよさを発揮し、毎日の学校生活に充実感と安心感をもてる学級集団を作る。	縦割り班での遊びや挨拶運動を確実に実施する。(気持ちのよい挨拶や思いやりの言葉遣い。さん・君付けの徹底)		4	縦割り班の活動に、意欲的の参加している子どもが8割以上いる。	
					3	6割以上8割未満	
					2	5割以上6割未満	
					1	5割未満	
	3 集団の中で信頼関係を築き、コミュニケーション能力を高める。	○ 明るく元気で挨拶のあふれる学級・学校にする。	職員の共通理解のもとでの生活指導の徹底を図る。(特に規範意識や学習規律)		4	各月の生活目標を8割以上の子どもが守っている。	
					3	6割以上8割未満	
					2	5割以上6割未満	
					1	5割未満	
	4 思いやりの心や奉仕の心を育てる。	○ 集団生活をする上での約束や決まりを守らせる。	すべての価値項目を計画的に配列した道徳授業を年間35時間行うとともに日常の教育活動全体を通して心を耕す教育を行う。		4	すべての価値項目を扱い、35時間の道徳授業を実践した。	
					3	価値項目はすべて扱ったが、授業時数が35時間未満の実施だった。	
					2	価値項目をすべて扱えなかったが、授業時数は35時間実施した。	
					1	価値項目も授業時数もどちらも達成できなかった。	
	5 健康で安全な生活を送るための生活習慣を身に付けさせる。	○ 子供たちが主体的に取り組める学校行事や集会活動を実施する。	学校行事に主体的に取り組めるよう指導する。(遠足・移動教室・運動会・学習発表会等)		4	学校行事に9割以上の子供に目標をもって取り組ませた。	
					3	7割以上9割未満	
					2	5割以上7割未満	
					1	ほとんど目標を持たせずに取り組ませた。	
	6 日常的な運動を通して体力を向上させる。	○ 相手の気持ちを考え、互いを大切にする心を育成する。 ○ 人のために働く奉仕の心を育てる。	コーディネーターを中心とした教育相談システムを積極的に活用する。(スクールカウンセラーとの連携)		4	コーディネーターやSCと毎月クラスや児童のことで情報共有した。	
					3	2ヶ月に1回	
					2	3ヶ月に1回	
					1	年に1~2回	
	○ 子どもの安全・安心の確保する。	マラソン週間やなわとび週間を目標をもたせて実施する。		4	マラソンやなわとび週間で9割以上の児童が目標に達した。		
				3	7割以上9割未満		
				2	5割以上7割未満		
				1	ほとんど達成できなかった。		
	○ 自分の健康や体力に関心をもち活動する。	健康教育・食育を計画的に実施する。		4	健康教育や食育の授業を各学期に1回以上実施した。		
				3	年間2回以上		
				2	年間1回		
				1	まったく実施できなかった。		

輝く未来に向かって	教員の指導力・資質向上	<p>教員としての経験年数や職層に応じた研修に努め、教師力の向上を図る。</p> <p>1 授業力向上を目指した校内研究・研修の充実を図る。</p> <p>2 組織的に授業力を研ぎ、児童一人一人の学力向上を図る授業を展開する。</p> <p>3 教育計画の確実な実施のために、合理的・効果的な組織運営をする。</p>	<p>十分な教材研究と準備・計画に基づいた授業を実践する。</p> <p>○ 十分な教材研究と準備・計画に基づいた授業実践。</p> <p>○ 毎日の実践記録を積み重ね、評価と見直しをする。</p> <p>○ 学期ごとに現状の分析・目標の確認をし、学年・学級・専科経営の充実を図る。</p> <p>○ 授業改善推進プランを日常的に活用する。互いに授業を公開し、日々学び、高め合う。</p> <p>○ OJT組織を明確にし、教員の指導体制を整える</p> <p>○ 児童に関わる情報の共有化を図り、組織として迅速・誠実・的確に対応する。</p>	学年またはブロックでOJTを計画し、教材研究の充実を図り、互いの授業を公開し、学び合う。	4	学年またはブロックの授業参観及び協議を 8回以上 実施した。	
				3	6回以上		
				2	4回以上		
				1	2回以上		
				校内研究教科である国語の授業実践の日常化を図る。	4	朝学習において初読の文章を正しく読み取る練習を 20回以上 実施した。	
				3	15回以上		
				2	10回以上		
				1	5回以上		
				人事考課制度における授業観察時に教材研究を深め、指導案の作成し、自己の授業力向上に努力する。	4	年間3回の授業観察時以外にも自主的に指導案を作成し、授業公開を行った。	
				3	年間3回の授業観察時にすべて指導案を作成し、授業公開を行った。		
				2	年間3回の授業観察時のうち2回指導案を作成し、授業公開を行った。		
				1	1回		
生活指導朝会を有効活用し、情報を共有する。	4	毎週水曜日に実施し、90%以上共通理解ができた。					
3	80%以上						
2	60%以上						
1	50%以下						
指導方法や評価方法を工夫し、児童の良さを伸ばすことに努める。	4	授業の理解度を確認するために、 毎時間 授業中に評価をした。					
3	週に1度						
2	单元ごとに1度						
1	ほとんどやらない						
服務を遵守し、職務を確実に遂行し、信頼関係の構築に努める。	4	教員としての身分を意識して、決められたことを 確実に 遂行した。					
3	9割は						
2	7割は						
1	5割程度は						
輝く未来に向かって	保護者・地域との連携	<p>学校を開き、信頼を基盤とした家庭・地域との連携を図る。</p> <p>学校公開を充実させる。(授業参観や保護者会、道徳授業地区公開講座、セーフティ教室等)</p> <p>地域行事やPTA活動に積極的に参加し、保護者・地域との連携の中で子どもの健全育成に努める。</p>	<p>学校を公開し、保護者からの率直な意見をもらう。学校の取り組みを具体的に発信する。</p> <p>○ 子供たち自身がよき情報の伝達者となるようにする。</p> <p>○ 適切な初期対応を行い、保護者との信頼関係を築く。</p> <p>○ 子供たちのために用意されている歴史ある様々な行事へ積極的に参加する。</p> <p>○ 幼保小中との連携を行い、先を見通した指導を行う。</p>	保護者会において、授業内容や指導方針及び児童の実態について説明を行う。	4	毎回、 直接または紙面等で説明している。	
				3	4回の保護者会のうち、3回		
				2	4回の保護者会のうち、2回		
				1	4回の保護者会のうち、1回以下		
				学校からの情報発信を積極的に行う。(学年だより、学級だより・教科通信等)	4	1ヶ月に2回以上 学年・学級・教科からお知らせを発行する。	
				3	1か月に1回		
				2	学期に 1回以上		
				1	年に 1～2回		
				保護者、地域の方によるボランティアを有効に活用する。(読み聞かせ・家庭科の支援・図書等)	4	2週間に1度は、ボランティアとして協力してもらっている。	
				3	月に1度は、		
				2	学期に1度は、		
				1	年に1～2度は、		
PTA、地区委員会、自治会等の活動に積極的に関わる。(挨拶運動、地域行事等)	4	PTAや地域の行事や取り組みに 4回以上 参加、協力した。					
3	3回以上						
2	1回から2回						
1	参加、協力していない。						
幼保小中との連携のために、情報共有や教員相互の連携に努める。	4	幼・保・小・中それぞれの教員と 1回以上 連絡をとった。					
3	小・中の教員と 1回以上 連絡をとった。						
2	幼・保の教員と 1回以上 連絡をとった。						
1	小以外の教員とは連絡をとったことがない						